

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	1年
授業科目名	実践学習	授業方法	講義
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:滝川 啓子・折本 陸郎 専任教員		

## ■授業科目情報

授業内容	一般教養を身につけ就職活動を円滑に行わせる ビザ更新の申請書類作成の援助
到達目標	それぞれの進路に合わせて、進学なり、就職なりをさせる。
教科書	なし
年間授業計画	1 自己紹介 2 キャリアと仕事へのアプローチ 3 仕事の基本となる8つの意識 4 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 5 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 6 指示の受け方と報告、連絡・相談 7 話し方と聞き方のポイント 8 話し方と聞き方のポイント 9 来客応対と訪問の基本マナー 10 来客応対と訪問の基本マナー 11 会社関係でのつきあい 12 仕事への取り組み方 13 ビジネス文書の基本 14 電話応対 15 統計・データの読み方・まとめ方  16 統計・データの読み方・まとめ方 17 情報収集とメディアの活用 18 情報収集とメディアの活用 19 会社を取り巻く環境と経済の基本 20 JLPT試験対策 21 JLPT試験対策 22 業界研究 23 自己分析 24 自己分析 25 履歴書・エントリーシートの書き方 26 履歴書・エントリーシートの書き方 27 企業説明、就職面接について 28 面接対策 29 面接対策 30 面接対策
成績評価方法	1)試験点=70% 2)出席・平常点=30% 授業内の模擬テスト、ロールプレイングの取り組み具合なども考慮。 JLPTなどの検定試験合格時には、加点評価。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション	年 次	1年
授 業 科 目 名	情報化と経営	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年 間 授 業 時 間 数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:辻 昌宏 インテレック株、システム機器株でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

## ■授業科目情報

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。</li> <li>ビジネスITシステムの中核となる「経理知識」については重点的に強化します。</li> <li>教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。</li> <li>細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。</li> </ul>
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベル</li> <li>ITパスポート試験出題レベル以上(経理知識)</li> <li>検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、IT業界全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。</li> </ul>
教 科 書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(技術評論社,原山真美子 著)
年 間 授 業 計 画	<p>令和02年【上半期】ITパスポート パーフェクトラーニング過去問題集(技術評論社,五十嵐聰 著)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>簿記の基礎</li> <li>商品売買</li> <li>現金預金</li> <li>手形と電子記録債権(債務)</li> <li>有形固定資産</li> <li>その他の取引</li> <li>帳簿</li> <li>試算表</li> <li>伝票と仕訳日計表</li> <li>決算手続き1</li> <li>決算手続き2</li> <li>決算手続き3</li> <li>ITサービスマネジメント</li> <li>前期復習問題演習</li> <li>企業活動の基礎知識</li> <li>企業の会計業務</li> <li>財務や会計処理に係る計算</li> <li>分析手法とプロセス改善手法</li> <li>経営戦略と経営分析</li> <li>マーケティング戦略</li> <li>ビジネス戦略と技術開発戦略</li> <li>情報システム戦略とシステム活用</li> <li>経営管理システム</li> <li>エンジニアリングシステム</li> <li>e-ビジネス</li> <li>ソリューションビジネス</li> <li>知的財産を守る法律</li> <li>セキュリティを守る法律</li> <li>労働関連・取引関連の法律</li> <li>企業が負う法令順守の責任／ソフトウェア開発やシステム管理の企画</li> </ol>
成 績 評 価 方 法	<p>①出席率=30%</p> <p>②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点=70%</p> <p>・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</p> <p>・各科目的認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備 考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション	年次	1年
授業科目名	情報リテラシー	授業方法	講義
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:辻 昌宏 インテレック(株)、システム機器(株)でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

## ■授業科目情報

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。</li> <li>リテラシの中核となる「表計算」「データベース」「IoT」については重点的に強化します。</li> <li>教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。</li> <li>細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。</li> </ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベル</li> <li>ITパスポート試験出題レベル以上の操作知識習得(表計算、データベース、IoT)</li> <li>検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、IT業界全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。</li> </ul>
教科書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(技術評論社、原山真美子 著)
年間授業計画	<p>令和02年【上半期】ITパスポート パーフェクトラーニング 過去問題集(技術評論社、五十嵐聰 著)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトの基本機能</li> <li>セルの参照機能</li> <li>表計算ソフトの関数</li> <li>IF関数の使い方</li> <li>表計算分野の筆記問題演習</li> <li>DBMS(データベース管理システム)の機能</li> <li>排他制御機能</li> <li>データ更新とリカバリ</li> <li>関係データベースの仕組み</li> <li>表設計とフィールドのルール</li> <li>データベースの設計に使うE-R図</li> <li>データ操作に使う演算</li> <li>データベース分野の筆記問題演習</li> <li>前期復習問題演習</li> <li>開発プロジェクトのマネジメント</li> <li>ITサービスの調達</li> <li>IoT 戦略・企画</li> <li>IoT プロジェクトマネジメント</li> <li>IoT 人材育成と企業間連携</li> <li>エネルギー関連のIoT</li> <li>身近なIoT</li> <li>産業界のIoT</li> <li>海外におけるIoTプロジェクト</li> <li>IoT関係の標準規格</li> <li>通信関連の法律</li> <li>製造及び航空法に関する法律</li> <li>ライセンス</li> <li>IoTデバイス</li> <li>IoTプラットホーム / IoT データ分析</li> <li>後期復習問題演習</li> </ol>
成績評価方法	<p>①出席率 = 30%</p> <p>②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点 = 70%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</li> <li>各科目的認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</li> </ul> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション	年次	1年
授業科目名	情報処理概論	授業方法	講義
年度	2020年度	年間授業時間数	120時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 30コマ 後期 30コマ
単位数	8.0	週間授業数	前期 2回 後期 2回
担当教員・略歴	担当:辻 昌宏		

## ■授業科目情報

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。</li> <li>これからの中核となる「AI」については重点的に強化します。</li> <li>教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。</li> <li>細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。</li> </ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベル</li> <li>ITパスポート試験出題レベル以上の知識習得(AI)</li> <li>検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、IT業界全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。</li> </ul>
教科書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(技術評論社,原山真美子 著)
年間授業計画	<p>令和02年【上半期】ITパスポートパーフェクトラーニング過去問題集(技術評論社,五十嵐聰 著)</p> <p>1 2進数の計算と単位の換算      2 データの処理に必要な演算      3 コンピュータの頭脳「プロセッサ」      4 データの保管庫「記憶装置」      5 周辺機器とインターフェース規格      6 ソフトウェアの種類と役割      7 目的に合わせたシステム構成      8 プログラミングの予備知識      9 インタフェースとマルチメディア      10 システム開発1      11 システム開発2      12 ソフトウェアの開発技法      13 ITサービスマネジメント      14 性能評価の指標(稼働率)      15 前期復習問題演習      16 設備管理とデータの管理      17 リスク管理とセキュリティ管理      18 システム監査      19 人工知能(AI)とは      20 人工知能研究の歴史      21 人工知能をめぐる動向(探索・推論)      22 人工知能をめぐる動向(知識表現)      23 人工知能をめぐる動向(機械学習・深層学習)      24 人工知能分野の問題      25 機械学習の具体的手法(代表的な手法)      26 機械学習の具体的手法(手法の評価)      27 ディープラーニングの概要(ニューラルネットワークとディープラーニング)      28 ディープラーニングの概要(ディープラーニングのアプローチ)      29 ディープラーニングの概要(ディープラーニングを実現するには)      30 後期復習問題演習</p>
成績評価方法	<p>①出席率=30%</p> <p>②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点=70%</p> <p>・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</p> <p>・各科目的認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	2年
授業科目名	情報数学	授業方法	講義
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	2.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:葉玉 信子 日本ユニシス(株)や(株)ダイナックスでプログラマーとして勤務。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

## ■授業科目情報

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報学を学ぶために必要な数学の基礎を学習する。</li> <li>・論理的な考え方が出来る様に、基本的な数学の理解を深めて行きます。</li> </ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITパスポート試験合格を目指して学習して行きます。</li> </ul>
教科書	ITパスポート出るところマスター
年間授業計画	<p>1 Chapter2 情報処理の基礎知識 2進数      2 Chapter2 情報処理の基礎知識 基数変換      3 Chapter2 情報処理の基礎知識 基数変換      4 Chapter3 情報処理の基礎知識 基数変換      5 Chapter2 情報処理の基礎知識 データ処理に必要な演算の知識      6 Chapter2 情報処理の基礎知識 データ処理に必要な演算の知識      7 論理演算      8 確率について      9 確率について      10 順列と組み合わせ      11 順列と組み合わせ      12 稼働率      13 稼働率      14 前期試験対策      15 前期試験      16 ITテクノロジー系過去問題演習      17 ITテクノロジー系過去問題演習      18 ITテクノロジー系過去問題演習      19 ITテクノロジー系過去問題演習      20 ITテクノロジー系過去問題演習      21 ITテクノロジー系過去問題演習      22 ITテクノロジー系過去問題演習      23 ITテクノロジー系過去問題演習      24 ITテクノロジー系過去問題演習      25 ITテクノロジー系過去問題演習      26 ITテクノロジー系過去問題演習      27 ITテクノロジー系過去問題演習      28 ITテクノロジー系過去問題演習      29 後期試験対策      30 後期試験</p>
成績評価方法	<p>出席30%・定期試験の評価70%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</li> </ul> <p>・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)      ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	1年
授業科目名	アルゴリズム	授業方法	講義・実習
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:滝川 啓子 専任教員		

## ■授業科目情報

授業内容	基本制御構造の理解。フローチャートの作成。データ構造の理解。 複数あるソートやサーチのアルゴリズムを知る。
到達目標	与えられた課題のフローチャートが作れるようになる。 そのため、基本制御構造を理解し、自ら考える力をつける
教科書	なし
年間授業計画	1 システム開発のライフサイクルと職種・アルゴリズムとは 2 フローチャートの記号・基本制御構造 3 連接・分岐・反復 4 2分岐・3分岐・多分岐 5 カウント型・while型・until型 6 定数と変数・代入・交換 7 演算子・比較演算子 max求める 8 繰り返しの詳細 9 最高点先か後か 10 コントロールブレイク 11 配列 12 2次元配列 13 奇数魔法陣 14 ソート1 15 ソート2  16 ソート3 17 ソート4 18 サーチ1 19 サーチ2 20 サーチ3 21 順位付け1 22 順位付け2 23 順位付け3 24 順位付け4 25 データ構造 26 ヒープ構造 27 ハーモニア構造・逆ハーモニア構造 28 ファイルの読み書き 29 リスト構造 30 再帰・その他の構造化図法
試験の実施方法	・前期試験あり・後期試験あり ※授業最終日にそれまでの範囲の試験を内で試験を実施します。
成績評価方法	出席30%・試験70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計したものに授業への取り組みを加味し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	1年
授業科目名	表計算実習	授業方法	実習
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:浅川 順子 振興財団主催のパソコン講座を9年にわたり担当		

## ■授業科目情報

授業内容	Excelでどんなことができるのかを知り、その後画面の構成、基本操作を学ぶ。基本操作を習得した上で、仕事を効率よく行うための表やグラフの操作も行う。シートに分かれている特性を理解し、連携させた操作の仕方・印刷テクニック・データベースの操作も学習する。
到達目標	Excelの概要を理解し、Excelでできること、また使いこなす楽しさを知ってもらう。基本的な操作を習得することはもちろんのこと、表の作成、関数を使った数式入力、グラフの挿入と編集、データベースを操作できるようになること。さらにこれらをスムーズに行えるようになることを目指します。
教科書	よくわかるEXCEL2013 基礎
年間授業計画	1 パソコンの基本操作 2 Excelの基礎知識 3 データの入力 4 データの編集(コピー・切り取り・オートフィル機能) 5 第2章練習問題 6 表の作成(関数の入力:SUM,AVERAGE) 7 表の作成(罫線・塗りつぶし・表示形式の設定) 8 表の作成(配置・フォント設定) 9 表の作成(列や行の設定・編集) 10 第3章練習問題 総合問題1 11 関数の入力方法を確認する SUM,AVERAGE関数の復習 12 いろいろな関数を利用する(MAX,MIN,COUNT,COUNTA) 13 相対参照と絶対参照を使い分ける 14 第4章練習問題 総合問題2 15 前期試験 16 複数シート間での操作(シート名の変更・作業グループの設定) 17 複数シート間での操作(シートを移動・コピー) 18 複数シート間での操作(シート間で集計する) 19 第5章練習問題 総合問題 20 表の印刷 21 第6章練習問題を利用して習得確認 22 グラフの作成(円グラフ) 23 グラフの作成(縦棒グラフ) 24 グラフの作成(グラフの種類の変更・書式設定) 第7章練習問題 25 データベースの利用(並べ替え・抽出) 26 データベースの利用(データベースを効率的に操作する) 27 総合問題4 28 総合問題5 29 総合問題6 30 後期試験
成績評価方法	①出席率 30% ②試験及び課題作成 70% ・上記3項目の合計を100点満点とし、成績評価を算出します。  ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	2年
授業科目名	ネットワーク	授業方法	講義・実習
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:折本 陸郎 専任教員		

## ■授業科目情報

授業内容	ネットワークのしくみを知るために、TCP/IPプロトコルなどのネットワークの基礎を理解する。
到達目標	1.有線と無線、個人向けと法人向けなど、例を挙げて説明することができる。 2.OSI参照モデル、TCP/IPモデルについて、説明することができる。 3.暗号化や認証技術があることを理解した上で、安心安全に機器を操作することができる。
教科書	これ一冊で身につく ネットワークの基本としくみ(Gene著、ナツメ社、2018.07.09発行)
年間授業計画	1 ネットワークの基礎知識 2 ネットワーク上の通信のしくみ 3 ネットワーク基盤(インフラ)の特徴と種類 4 LANとWAN イーサネット 5 無線LAN 6 TCP/IP 7 ネットワークの基本ルール 8 物理層 9 データリンク層 10 ネットワーク層 11 IPアドレス 12 トранスポート層 13 アプリケーション層 14 Webサイトアクセス 15 電子メール  16 ネットワーク全体の流れ 17 ネットワークを構成する機器の役割としくみ 18 ネットワーク機器 19 レイヤスイッチ 20 ルータ 21 レイヤ3スイッチ 22 VLAN 23 セキュリティ1 24 セキュリティ2 25 暗号化技術 26 認証技術 27 アクセス制御 28 デジタル証明書 29 SSL 30 VPN
成績評価方法	出席30%・定期試験の評価70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。  ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	受講者の理解や演習の進捗状況により、授業内容や進度を変更することがある。

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	1年
授業科目名	C言語	授業方法	講義・実習
年度	2020年度	年間授業時間数	120時間
開講学期	前期	授業コマ数	前期 30コマ 後期 30コマ
単位数	8.0	週間授業数	前期 2回 後期 2回
担当教員・略歴	担当:滝川啓子 専任教員		

## ■授業科目情報

授業内容	Visual Studioを使いC言語プログラム作成の基礎を学ぶ 基本情報処理試験の言語選択に対応できるように過去問題をふまえて学習する
到達目標	与えられた課題に対して、自らアルゴリズムを考えC言語にできるようになる 基本情報処理試験の過去問題のプログラムが理解できるようになる
教科書	入門C言語 実教出版
年間授業計画	1 C言語の特徴・プログラム作成の実際・実行結果の確認とデバッグ・関数の記述 2 データ型・printf_sの書式 3 変数宣言・代入 4 scanf_s 5 演算子(算術演算・論理演算) 6 if文 7 switch case文 8 for文 9 while文 10 do while文 11 配列1 12 配列2 13 2次元配列1 14 2次元配列2 15 文字列  16 ポインタ変数1 17 ポインタ変数2 18 関数1 19 関数2 20 関数3値渡し 21 関数4アドレス渡し 22 関数5配列の関数渡し 23 再帰 24 標準関数 25 構造体1 26 構造体2 27 共用体1 28 共用体2 29 リスト構造1 30 リスト構造2
成績評価方法	①出席率=30% ②試験の点=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計したものに平常点を加味し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目的認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	ITソリューション・ITコース	1年
授業科目名	情報セキュリティ	授業方法	講義	
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間	
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ	後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回	後期 1回
担当教員・略歴	担当:折本 陸郎 専任教員			

## ■授業科目情報

授業内容	情報漏洩などに関するニュースや身近に潜むリスクを、情報セキュリティの知識をもって自ら分析するために、企業の情報資産に対するサイバー攻撃や情報漏洩の脅威を学び、保護すべき対象のセキュリティを確保するしくみを学ぶ。
到達目標	1.情報セキュリティの定義・管理対象を列挙できる。 2.情報セキュリティにおける脅威を具体的に述べ、また一般化することができる。 3.情報セキュリティにおける対策について、自らも実施し、また組織内ではコミュニケーションしながらそれを示すことができる。
教科書	平成30-31/01年 ITバスポート出るとこマスター-2018年8月4日初版、原山麻美子、技術評論社)
年間授業計画	1 情報セキュリティ 2 マルウェア1 3 マルウェア2 4 フィッシング1 5 フィッシング2 6 標的型攻撃1 7 標的型攻撃2 8 Webサイトへの攻撃1 9 Webサイトへの攻撃2 10 Webサイト利用者への攻撃1 11 Webサイト利用者への攻撃2 12 共通鍵暗号方式1 13 共通鍵暗号方式2 14 公開鍵暗号方式1 15 公開鍵暗号方式2 16 利用者認証1 17 利用者認証2 18 メッセージ認証1 19 メッセージ認証2 20 デジタル署名1 21 デジタル署名2 22 ファイアウォール1 23 ファイアウォール2 24 無線LANセキュリティ1 25 無線LANセキュリティ2 26 携帯端末セキュリティ1 27 携帯端末セキュリティ2 28 セキュリティ関連法規1 29 セキュリティ関連法規2 30 まとめ
成績評価方法	出席30%・定期試験及び授業課題到達度70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	受講者の理解や演習の進捗状況により、授業内容や進度を変更することがある。

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	ITソリューション・ITコース 1年
授業科目名	PCサポート実習	授業方法	講義
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:折本 陸郎 専任教員		

## ■授業科目情報

授業内容	専門学校生が授業や実習の場において、レポートを作成や発表を円滑にできるようにするために、コンピューター(PC)の活用方法、および情報モラルを身に着ける。
到達目標	1. 基本ソフトウェア(オペレーティングシステム)を円滑に操作できる。 2. ネットワークのしくみ、セキュリティの基本を説明できる。 3. 文章作成ソフトを用いて、適切に資料を作成することができる。 4. 情報モラルを身に着け、情報化社会での問題や危険を避ける行動ができる。
教科書	令和02年ITパスポートの新よくわかる教科書(2019年11月13日初版,原山麻美子,技術評論社)  1 コンピュータシステムの基礎1(ハードウェア) 2 コンピュータシステムの基礎2(ソフトウェア) 3 パソコン操作と基本ソフトウェア(オペレーティングシステム) 4 ネットワークの基礎1 (LANとWAN) 5 ネットワークの基礎2 (インターネットと電子メール) 6 コンピュータセキュリティ1 (コンピュータウィルスとウィルス対策ソフト) 7 コンピュータセキュリティ2 (スパイウェアとウィルス対策ソフト) 8 コンピュータセキュリティ3 (不正アクセス) 9 情報モラル1 (情報化社会の問題、著作権) 10 情報モラル2 (個人情報保護、ルールとマナー) 11 情報モラル3 (ネットコミュニケーション) 12 さまざまな応用ソフトウェア(アプリケーション) 13 タッチタイピング 14 テキストエディタの使い方 15 前期まとめ
年間授業計画	16 文章作成ソフト1 基本操作・文字入力 17 文章作成ソフト2 書式と段落の設定 18 文章作成ソフト3 オブジェクトの挿入 19 文章作成ソフト4 文章の編集と校正 20 文章作成ソフト5 罫線 21 文章作成ソフト6 表 22 リーフレットの作成1 23 リーフレットの作成2 24 レポートの作成1 25 レポートの作成2 26 オリジナル履歴書の作成1 27 オリジナル履歴書の作成2 28 はがきの作成 29 カレンダーの作成 30 後期まとめ
成績評価方法	出席30%・定期試験・小テスト70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。  ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	受講者の理解や演習の進捗状況により、授業内容や進度を変更することがある。

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション学科	年 次	ITソリューションコース	1年
授 業 科 目 名	受験対策	授 業 方 法	講義	
年 度	2020年度	年 間 授 業 時 間 数	60時間	
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ	後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回	後期 1回
担当教員・略歴	担当:折本 陸郎 専任教員			

## ■授業科目情報

授 業 内 容	情報処理技術者試験合格へ向け、基本情報技術者試験の午後問題対策を中心に、同午前問題対策およびITパスポート試験対策を実施する。
到 達 目 標	1.情報セキュリティの基本的な問題に解答することができる。 2.ハードウェア、データベース、ソフトウェア設計の基本的な問題に解答することができる。 3.マネジメント系、ストラテジ系の基本的な問題に解答することができる。 4.疑似言語の基本的な問題に解答することができる。
教 科 書	情報処理教科書 出るとこだけ！ 基本情報技術者[午後] 第2版(橋本祐史、翔泳社) 平成30-31/01年 ITパスポート出るとこマスター-2018年8月4日初版、原山麻美子、技術評論社) よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 2019-2020年度版(富士通エフ・オー・エム)
年 間 授 業 計 画	1 出題傾向と対策 2 SQL 3 SQL(結合条件式) 4 SQL(副問合せ) 5 暗号と認証 6 疑似言語 7 文字列処理1 8 文字列処理2 9 文字列処理3 10 情報セキュリティ対策 11 データベース設計 12 ネットワークセキュリティ 13 スケジュール管理 14 サイバー攻撃 15 浮動小数点 16 機械語命令1 17 機械語命令2 18 オブジェクト指向設計 19 決定表 20 コンピュータシステム 21 情報処理の基礎知識 22 ITを支える各種の技術 23 ネットワーク技術 24 セキュリティ技術 25 システムの開発 26 システムの運用管理 27 企業の業務活動 28 企業の戦略 29 業務システムとITビジネス 30 法令やルールの遵守
成 績 評 価 方 法	出席30%・定期試験および授業課題到達度70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	受講者の理解や演習の進捗状況により、授業内容や進度を変更することがある。

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	2年
授業科目名	実践学習	授業方法	講義
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:折本 陸郎・滝川 啓子 専任教員		

## ■授業科目情報

授業内容	就職等それぞれの進路へ向けて円滑な活動をできるように、さらに就職後に活躍できる人材になるために、一般常識の学習、業界研究、資格研究、履歴書の書き方、自己PR方法を習得する。手段として、「ビジネス能力検定3級」合格へ向けた学習も行う。
到達目標	1.自己分析をしたうえで、自らの能力、意思について、適切に表現できる。 2.志望する業界、技術動向について、自ら調べることができる。 3.自分の意見を述べることができ、かつ、適切なコミュニケーションをすることができる。 4.ビジネス能力検定3級に合格できる。
教科書	2019年度版 ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト(日本能率協会マネジメントセンター)
年間授業計画	1 オリエンテーション 2 自己分析 3 自己分析 4 業界研究 5 業界研究 6 資格研究 7 自己PR 8 志望動機探索 9 履歴書・エントリーシートの書き方 10 履歴書・エントリーシートの書き方 11 ビジネスとコミュニケーションの基本 12 ビジネスとコミュニケーションの基本 13 仕事の実践とビジネスツール 14 仕事の実践とビジネスツール 15 ビジネス用語の基本 16 情報処理技術者試験対策 17 情報処理技術者試験対策 18 情報処理技術者試験対策 19 情報処理技術者試験対策 20 ビジネス能力検定模擬試験 21 ビジネス能力検定模擬試験 22 ビジネス能力検定模擬試験 23 就職活動点検 24 ビジネスマナー実践 25 ビジネスマナー実践 26 コミュニケーション能力向上グループワーク 27 コミュニケーション能力向上グループワーク 28 身だしなみ 29 就職活動点検 30 後期まとめ
成績評価方法	出席30%・定期試験及び授業課題到達度70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション	年 次	2年
授 業 科 目 名	情報化と経営	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年 間 授 業 時 間 数	60時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 15コマ 後期 15コマ
単 位 数	4.0	週 間 授 業 数	前期 1回 後期 1回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:辻 昌宏 インテレック株、システム機器株でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

## ■授業科目情報

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。</li> <li>ビジネスITシステムの中核となる「経理知識」については重点的に強化します。</li> <li>教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。</li> <li>細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。</li> </ul>
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベル</li> <li>ITパスポート試験出題レベル以上(経理知識)</li> <li>検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、IT業界全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。</li> </ul>
教 科 書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(技術評論社,原山真美子 著)
年 間 授 業 計 画	令和02年【上半期】ITパスポート パーフェクトラーニング過去問題集(技術評論社,五十嵐聰 著) 1 簿記の基礎 2 商品売買 3 現金預金 4 手形と電子記録債権(債務) 5 有形固定資産 6 その他の取引 7 帳簿 8 試算表 9 伝票と仕訳日計表 10 決算手続き1 11 決算手続き2 12 決算手続き3 13 ITサービスマネジメント 14 前期復習問題演習 15 企業活動の基礎知識  16 企業の会計業務 17 財務や会計処理に係る計算 18 分析手法とプロセス改善手法 19 経営戦略と経営分析 20 マーケティング戦略 21 ビジネス戦略と技術開発戦略 22 情報システム戦略とシステム活用 23 経営管理システム 24 エンジニアリングシステム 25 e-ビジネス 26 ソリューションビジネス 27 知的財産を守る法律 28 セキュリティを守る法律 29 労働関連・取引関連の法律 30 企業が負う法令順守の責任／ソフトウェア開発やシステム管理の企画
成 績 評 価 方 法	①出席率=30% ②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点=70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目的認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学 科 名	ITソリューション	年 次	2年
授 業 科 目 名	C言語	授 業 方 法	講義
年 度	2020年度	年 間 授 業 時 間 数	120時間
開 講 学 期	前期・後期	授 業 コ マ 数	前期 30コマ 後期 30コマ
単 位 数	8.0	週 間 授 業 数	前期 2回 後期 2回
担 当 教 員 ・ 略 歴	担当:辻 昌宏 インテレック株、システム機器株でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

## ■授業科目情報

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次の学習状況を踏まえ、実習および講義形式でC言語を学びます。</li> <li>課題用独自プリント教材を用意し、確実なプログラミング作成能力の育成を図ります。</li> <li>講義授業時は毎回独自筆記問題演習用プリントを解答、基本情報技術者試験対策を行います。</li> </ul>
到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習では即戦力C言語プログラマー育成を目指します。</li> <li>講義では基本情報技術者試験合格レベルの解答力を養成します。</li> </ul>
教 科 書	入門C言語(実教出版監修:寛捷彦,石田晴久 執筆:後藤良和,高田大二,中島寛和 2014年12月15
年 間 授 業 計 画	1 筆記問題演習1 & 実習(構造体1) 2 筆記問題演習2 & 実習(構造体2) 3 筆記問題演習3 & 実習(共用体1) 4 筆記問題演習4 & 実習(共用体2) 5 筆記問題演習5 & 実習(リスト構造1) 6 筆記問題演習6 & 実習(リスト構造2) 7 筆記問題演習7 & 実習(malloc1) 8 筆記問題演習8 & 実習(malloc2) 9 筆記問題演習9 & 実習(ファイル読み書き1) 10 筆記問題演習10 & 実習(ファイル読み書き2) 11 筆記問題演習11 & 実習(ビット演算子1) 12 筆記問題演習12 & 実習(ビット演算子2) 13 筆記問題演習13 & 実習(総合課題1) 14 筆記問題演習14 & 実習(総合課題2) 15 筆記問題演習(前期総合課題) & 実習(総合課題3)  16 100課題実習1 17 100課題実習2 18 100課題実習3 19 100課題実習4 20 100課題実習5 21 筆記問題演習(総合課題1) & 実習(ビジネスシステム構築1) 22 筆記問題演習(総合課題2) & 実習(ビジネスシステム構築2) 23 筆記問題演習(総合課題3) & 実習(ビジネスシステム構築3) 24 筆記問題演習(総合課題4) & 実習(ビジネスシステム構築4) 25 筆記問題演習(総合課題5) & 実習(ビジネスシステム構築5) 26 筆記問題演習(総合課題6) & 実習(ビジネスシステム構築6) 27 筆記問題演習(総合課題7) & 実習(ビジネスシステム構築7) 28 筆記問題演習(総合課題8) & 実習(ビジネスシステム構築8) 29 実習(ビジネスシステム構築9) 30 実習(ビジネスシステム構築10)
成 績 評 価 方 法	①出席率=30% ②筆記問題小テスト&課題提出による評価点=70% <ul style="list-style-type: none"> <li>上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</li> <li>各科目的認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</li> </ul> ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備 考	

以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション	年次	2年
授業科目名	Java	授業方法	講義
年度	2020年度	年間授業時間数	120時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 30コマ 後期 30コマ
単位数	8.0	週間授業数	前期 2回 後期 2回
担当教員・略歴	担当:辻 昌宏 インテレック株、システム機器株でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。		

## ■授業科目情報

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習形式でプログラミング言語Javaを学びます。</li> <li>教科書を補強するための小課題独自プリント教材を用意し、確実なプログラミング作成能力の育成を図ります。</li> <li>後期には、レベルを変えた総合課題により、個人個人の問題を明らかにし、解決させながら定着</li> <li>即戦力としてのJavaプログラマー育成を目指します。</li> </ul>
到達目標	
教科書	スッキリわかるJava入門第3版(インプレス,中山清喬・国本 大悟著/株式会社フレアリンク監修,2019年11月)
年間授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習環境説明・eclipse操作実習</li> <li>2 Javaプログラムの書き方</li> <li>3 式と演算子</li> <li>4 条件分岐と繰り返し</li> <li>5 配列</li> <li>6 メソッド</li> <li>7 複数クラスを用いた開発</li> <li>8 オブジェクト指向</li> <li>9 インスタンスとクラス</li> <li>10 さまざまなクラス機構</li> <li>11 繙承</li> <li>12 高度な継承</li> <li>13 多態性</li> <li>14 カプセル化</li> <li>15 前期総合復習課題</li> <li>16 Javaを支える標準クラス</li> <li>17 文字列と日付の扱い</li> <li>18 Webサイトアクセスのまとめ</li> <li>19 コレクション</li> <li>20 ArrayListの使い方</li> <li>21 LinkedListの使い方</li> <li>22 Mapの使い方</li> <li>23 コレクションの応用</li> <li>24 例外</li> <li>25 総合演習1</li> <li>26 総合演習2</li> <li>27 総合演習3</li> <li>28 総合演習4</li> <li>29 総合演習5</li> <li>30 総合演習6</li> </ol>
成績評価方法	<p>①出席率=30%</p> <p>②課題提出による評価点=70%</p> <p>・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</p> <p>・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備考	

以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	2年
授業科目名	インターネットホームページ制作	授業方法	実習
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:小山田 和枝 東京都障害者就職支援学校 非常勤講師、東京都雇用促進能力開発校 非常勤講師		

## ■授業科目情報

授業内容	HTMLタグを中心とした、ホームページ作成の基礎知識やコンテンツの作成までの流れを習得し、理解する。(コンテンツの内容については、学生の進捗状況による) 画像データの加工処理、デザイン関連の課題を作成予定。無料サーバーでFTPの概念を学習する。
到達目標	HTMLにて作成したコンテンツを実際にアップして、自分のホームページを作成。 ITパスポート試験における過去問題をベースにした模擬試験にて、試験合格を目指してインターネットの仕組みについて学ぶ。
教科書	HTML ワークブック ステップ30
年間授業計画	1 HTMLタグの理解 (サンプルページ、ソースの理解) 2 コンテンツの設計、作業の基本的な流れ 3 ファイル名と拡張子の理解 画像、イラストなどの素材利用時の説明 4 タグの基本と改行 5 見出しと段落 文字の装飾 6 文字の書式と行揃え 7 HTMLにおける色指定 8 画像の利用 9 画像のサイズと文字の配置 10 リンクの作成とパスの記述 11 特殊なリンクの作成 12 BODYタグに指定できる属性 ・ Tパスポート過去問題演習 13 表の作成 ・ Tパスポート過去問題演習 14 前期課題作成 15 前期試験・課題提出  16 TABLEタグに指定できる属性 17 Dタグに指定できる属性 18 表のグループ化とセルの結合 19 表をレイアウトに利用する 20 表をページレイアウトに利用する 21 フォームの作成 22 フレームの利用 23 音声や動画の利用とファイルのダウンロード 24 CSSを利用する 25 文字書式のCSS 26 背景のCSS 27 サイズと余白のCSS ・ Tパスポート過去問題演習 28 枠線のCSS・CSSを利用したデザイン ・ Tパスポート過去問題演習 29 CSSでレイヤーを作成する・課題作成 30 後期試験・課題提出
成績評価方法	①出席率 30% ②試験及び課題提出 70% 上記2項目の合計を100点満点とし、成績評価を算出します。  各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	2年
授業科目名	プレゼンテーション実習	授業方法	実習
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1回
担当教員・略歴	担当:浅川 順子 財団法人にて事務職に5年間従事後、振興財団主催のパソコン講座を9年にわたり担当		

## ■授業科目情報

授業内容	訴求力のあるスライドを作成し効果的なプレゼンテーションを行うため、プレゼンテーションの概念を理解し、Power Pointの基本操作から表やグラフ、図形、画像を取り入れる技法について学ぶ。練習問題に取り組み繰り返し練習することにより操作をスムーズに行い、聞き手に直感的に理解してもらえるものを作る。
到達目標	プレゼンテーションの概念・意義を理解し、Power Pointで発表者の考えをスムーズに正しく視覚化するための技術を身に付けること。「MOS攻略問題集PowerPoint 2013」を使ってMOS検定合格に向けてのカリキュラムも取り入れ、実践的な技術も習得すること。
教科書	よくわかるPowerPoint2013テキスト
年間授業計画	1 Power Pointの概要と基礎知識 2 Power Pointの基本をマスターする(画面構成、プレゼンテーションの作成) 3 プレイスホルダーの操作、新しいスライドの挿入、箇条書きテキストの入力・編集 4 プrezentテーションの構成の変更(スライドの複製・入れ替え)スライドショーを実行・保存 5 第2章練習問題 6 表を作成、編集する 7 表に書式を設定、文字の配置の変更 8 第3章練習問題 9 グラフの作成、レイアウト変更、書式設定 10 グラフのもととなるデータの修正、グラフの種類の変更 11 第4章練習問題 12 図形の作成と編集、書式設定 13 前期課題作成 14 前期課題作成 15 前期試験 前期課題提出 16 SmartArtグラフィックの作成、図形の追加と削除 17 SmartArtグラフィックの移動・サイズ変更、スタイルの適用、書式設定 18 箇条書きテキストをSmartArtに変換、SmartArtグラフィックのレイアウト変更 19 第5章練習問題 20 画像とワードアートの挿入と編集、第6章練習問題 21 アニメーションと画面切り替え効果の設定、第7章練習問題 22 プrezentテーションに役立つ機能(ペンや蛍光ペンの利用、発表者ビュー、リハーサルの実行) 23 プrezentテーションに役立つ機能(目的別スライドショーの作成)第8章練習問題 24 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(練習モードにて説明①) 25 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(練習モードにて説明②) 26 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(本番モードにて 模試第1回) 27 MOS検定対策 攻略問題集模擬テストプログラムにて(本番モードにて 模試第2回) 28 後期課題作成 29 後期課題作成 30 後期試験 後期課題提出
成績評価方法	①出席率 30% ②試験及び課題作成 70% ・上記3項目の合計を100点満点とし、成績評価を算出します。  ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	

以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	2年
授業科目名	ビジネスマナー	授業方法	実習
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ 後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回 後期 1年
担当教員・略歴	担当:青田美穂 専任教員		

## ■授業科目情報

授業内容	ビジネス常識および基本的なコミュニケーションや将来職業人として適応するため身につけておくべき知識を習得する。
到達目標	就職活動ならびにアルバイト先での勤務に直結できるよう実践力を身につける事を目標とする。日本の文化や風習についても習得する。
教科書	なし
年間授業計画	1 ビジネスマナーとは何か、自己紹介など 2 感じの良い挨拶、お辞儀練習、身だしなみ 3 面接練習① 4 面接練習② 5 面接練習③ 6 履歴書作成① 7 履歴書作成② 8 ビジネスとコミュニケーションの基本 9 話し方と聞き方のポイント① 10 話し方と聞き方のポイント② 11 話し方と聞き方のポイント③ 12 電話応対① 13 電話応対② 14 電話応対③ 15 前期テスト  16 来客応対と訪問の基本マナー 17 指示の受け方と報連相 18 働く意識、取り組み方 19 顧客意識、時間意識など8つの意識について 20 スケジュール管理 21 ビジネス文書①社内 22 ビジネス文書②社外 23 ビジネス文書③メール 24 食事のマナー 25 冠婚葬祭 26 日本の文化・風習 27 ビジネス用語 28 全体総括① 29 全体総括② 30 後期テスト
成績評価方法	出席30%・試験(前期)及び課題提出物(後期)70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。  ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	ITソリューションコース	2年
授業科目名	受験対策	授業方法	講義	
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間	
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ	後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回	後期 1回
担当教員・略歴	担当:折本 陸郎 専任教員			

## ■授業科目情報

授業内容	情報処理技術者試験合格へ向け、基本情報技術者試験の午後問題対策を中心に、同午前問題対策およびITパスポート試験対策を実施する。
到達目標	1.情報セキュリティの基本的な問題に解答することができる。 2.ハードウェア、データベース、ソフトウェア設計の基本的な問題に解答することができる。 3.マネジメント系、ストラテジ系の基本的な問題に解答することができる。 4.疑似言語の基本的な問題に解答することができる。
教科書	情報処理教科書 出るとこだけ！ 基本情報技術者[午後] 第2版(橋本祐史、翔泳社) 平成30-31/01年 ITパスポート出るとこマスター-2018年8月4日初版、原山麻美子、技術評論社) よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 2019-2020年度版(富士通エフ・オー・エム) 1 出題傾向と対策 2 SQL 3 SQL(結合条件式) 4 SQL(副問合せ) 5 暗号と認証 6 疑似言語 7 文字列処理1 8 文字列処理2 9 文字列処理3 10 情報セキュリティ対策 11 データベース設計 12 ネットワークセキュリティ 13 スケジュール管理 14 サイバー攻撃 15 浮動小数点 16 機械語命令1 17 機械語命令2 18 オブジェクト指向設計 19 決定表 20 コンピュータシステム 21 情報処理の基礎知識 22 ITを支える各種の技術 23 ネットワーク技術 24 セキュリティ技術 25 システムの開発 26 システムの運用管理 27 企業の業務活動 28 企業の戦略 29 業務システムとITビジネス 30 法令やルールの遵守
年間授業計画	出席30%・定期試験および授業課題到達度70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。 ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
成績評価方法	受講者の理解や演習の進捗状況により、授業内容や進度を変更することがある。
備考	

以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション学科	年次	ITソリューションコース	2年
授業科目名	課題実習	授業方法	実習	
年度	2020年度	年間授業時間数	180時間	
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 45コマ	後期 45コマ
単位数	12.0	週間授業数	前期 3回	後期 3回
担当教員・略歴	担当:折本 陸郎			

## ■授業科目情報

授業内容	さまざまな用途で使われているLinuxについてより身近に感じるようにするために、Linuxの環境構築や基本的なコマンド操作のやり方を身に着ける。Windowsコマンドプロンプトと比較しながら、できるだけ手を動かすようにする。さらに、その技能を用いて、プログラミングを行う。適宜チーム分けを行う。
到達目標	1.Linuxの基本的なコマンドを、適切に操作できる。 2.Linuxの基本的な特徴や、どのように使われているかを説明できる。 3.Linuxで使うエディタを操作し、シェルを作成し、動かすことができる。 4.Linux、Windowsでできるプログラミングを通して、OSの操作や開発手法を工夫することができる。
教科書	なし
年間授業計画	1 Linuxの基礎知識 2 Linuxの環境構築 3 LinuxとWindowsのコマンド 4 ファイルの操作 5 シェルの機能 6 テキスト処理のコマンド 7 エディタ(vim、他)の使い方 8 パッケージ管理 9 ネットワークコマンド 10 システム管理コマンド 11 サーバー構築1 12 サーバー構築2 13 Linuxでのプログラミング(C言語)1 14 Linuxでのプログラミング(C言語)2 15 前期まとめ  16 Processing 1 準備・基本図形を描く 17 Processing 2 簡単なアニメーション 18 Processing 3 ARプログラミング(1) 19 Processing 4 ARプログラミング(2) 20 JavaScript 1 準備・簡単なプログラム 21 JavaScript 2 分岐・配列 22 JavaScript 3 リアルタイム処理 23 JavaScript 4 オブジェクト指向 24 JavaScript 5 WebAPIを使う 25 PHP 1 準備・簡単なプログラミング 26 PHP 2 型と変数 制御構造 27 PHP 3 配列・連想配列 28 PHP 4 データベースの利用(1) 29 PHP 5 データベースの利用(2) 30 後期まとめ
成績評価方法	出席30% 定期試験及び課題到達度70% ・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。  ・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。 ①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下) ②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。
備考	受講者の授業進度や課題到達度により、内容を調整することがある。

以上

# 授業概要(シラバス)

専門学校デジタルアーツ東京

## ■科目基本情報

学科名	ITソリューション	年次	ITソリューションコース	2年
授業科目名	課題実習(ネットワーク)	授業方法	講義	
年度	2020年度	年間授業時間数	60時間	
開講学期	前期・後期	授業コマ数	前期 15コマ	後期 15コマ
単位数	4.0	週間授業数	前期 1回	後期 1回
担当教員・略歴	担当:辻 昌宏 インテレック㈱、システム機器㈱でSEとしてプログラムを担当。後に専門学校にて情報処理の指導を担当。			

## ■授業科目情報

授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベルのITに関する知識習得を目指します。</li> <li>ネットワーク技術者レベルの知識習得にも対応します。</li> <li>教科書を補強するために独自のプリント教材を用意し知識習得を深化させます。</li> <li>細かな問題演習を繰り返し知識習得の定着を図ります。</li> </ul>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITパスポート試験合格レベル</li> <li>ネットワーク技術者レベルの知識習得</li> <li>検定勉強による知識・技術習得により理解を深め、ネットワーク全般に対する将来の視野について広がりを感じることができる。</li> </ul>
教科書	令和02年 ITパスポートの新よくわかる教科書(技術評論社,原山真美子著)
年間授業計画	<p>令和02年【上半期】ITパスポート パーフェクトラーニング過去問題集(技術評論社,五十嵐聰著) これ一冊で身につく ネットワークの基本としくみ(ナツメ社,Genie著)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ネットワークとは?</li> <li>2 ネットワークの分類</li> <li>3 ネットワークの構成</li> <li>4 コンピュータが利用する言語</li> <li>5 通信の仕組み</li> <li>6 LANとWAN</li> <li>7 イーサネット</li> <li>8 無線LAN</li> <li>9 主なWANサービス</li> <li>10 インターネット接続サービス</li> <li>11 TCP/IPとは</li> <li>12 インターネット層</li> <li>13 トランスポート層</li> <li>14 前期復習問題演習</li> <li>15 アプリケーション層</li> <li>16 TCP/IPの設定</li> <li>17 Webサイトを見る</li> <li>18 Webサイトアクセスのまとめ</li> <li>19 電子メールを送る</li> <li>20 電子メール送受信のまとめ</li> <li>21 主なネットワーク機器</li> <li>22 レイヤ2スイッチ</li> <li>23 ルータ</li> <li>24 レイヤ3スイッチ</li> <li>25 VLAN</li> <li>26 セキュリティとは?</li> <li>27 暗号化技術</li> <li>28 認証技術</li> <li>29 アクセス制御 デジタル証明書 SSL VPN</li> <li>30 後期復習問題演習</li> </ol>
成績評価方法	<p>①出席率=30%</p> <p>②毎回実施する授業中の確認テストの点数及び課題提出による評価点=70%</p> <p>・上記2つの項目をそれぞれ合計し、100点満点の成績評価を算出します。</p> <p>・各科目の認定基準は、成績評価及び出席率を持って認定する。</p> <p>①成績評価は次の4段階とし、C以上を合格とする。(A:80点以上 B:65点以上 C:50点以上 D:49点以下)</p> <p>②出席率が75%以上に満たない場合は、原則としてその教科目の認定をしない。</p>
備考	

以上